

ラップ東京では、皆様のご参考になるニュースを抜粋し配信しております。

「いらっしやいませ。」

お店やレストラン、銀行やガソリンスタンド。当たり前のように聞くこの言葉について、ちょっと考える機会があったので、今回のテーマに取り上げてみたいと思います。私の近所にコンビニがあり、ちょっとした買い物をする店がそこにしかないのです、頻繁に行きます。そして、ある日、気が付きました。「この店って、何か足りない。そうだ。「いらっしやいませ」って言わない店だ・・・と気が付きました。たまに、愛想のいいパートのおばさんがいるときは元気いっぱいに言っています、いつもいる店長らしき人は、ムスッとレジの前に立っています。感じの悪い店だと思っていたら、近所のおじさんも同じ事を言っていました。友人から聞いた話し。ある機器メーカーに勤める彼は、ある工場に営業に行きました。一階が工場、二階が事務所となっていて、工場の方に「こんにちは」と行ったら、最初に帰ってきた言葉は「誰？」

「と申しますが、社長さんは？」
「二階！」

スーツを着た彼は確かに営業マンのように見えます。忙しいときに話しかけられた工場の方は、（うるさいな）と思ったのでしょうか？でも、仮にこの人がお客様だったら、どうでしょうか。お客様だって、スーツを着てビジネスバッグを持っているかもしれない。あるいは、作業着かもしれないし、Ｔシャツに

短パンかもしれません。やはり、どんな来客であつても、「いらっしやいませ」の一言が一番最初にこない、サービス業とはいえないのではないのでしょうか？「いらっしやいませ」の後に、うるさい営業マンを断ればいいのです。仮に自分が客として出向いているのに、「誰？」と言われたら一度と、その店には行かないでしょう。そして、悪い評判は、いい評判よりも早く、広範囲に広がるといわれています。とりあえずは、「いらっしやいませ」とても大切な言葉です。



「いたずら」から「盗み・詐欺」へ

何のことかといえば、コンピューターウイルス。世の中を騒がすだけではなく、最近は悪質なウイルスが横行しています。

- ・パソコンに侵入して個人情報などを盗む「スパイウェア」
- ・金融機関を装ってお金を騙し取る「フィッシング詐欺」

WINDOWS のアップデートを行って、マイクロソフト社のホームページのウイルス情報などを頻りにチェックしてください。

インターネットのビジネス活用のことならラップ東京までお問合せください。

TEL:042-349-3535 E-Mail:info@raptokyo.co.jp

編集者のひとり言 -----

多くの小学生が、調べ物をするときにインターネットを利用しているそうです。昔は辞書や百科事典で調べたり、それでもわからなければ図書館などに行ったりしたものだ！とあるコメンテーターが怒っていました。すみません、私もすべてインターネットで調べてます。